

ワーケーション推進事業 伴走支援者プロフィール情報

ふりがな	もりしげ りょうた	
氏名	森 重 良 太	
所属組織	株式会社南紀白浜エアポート / 紀伊半島地域連携 DMO	
略歴	<p>南紀白浜空港の運営会社で誘客・地域活性化室長として、エアライン誘致・地域連携DMO事業・着地型旅行事業を統括。2018年からは地域コーディネーターとして、200社3000件超のワーケーションの企画・運営・手配や地域の受入体制づくりを最前線で実践。ワーケーションの立ち上げから聖地化までを官民連携で推進するとともに空港利用者を5年で倍増させる。NECで戦略スタッフとして事業企画、経営共創基盤(IGPI)で経営プロフェッショナルとして企業の新規事業・組織変革や全国の空港民営化・地方創生プロジェクトに従事した後に現職。</p>	
保有資格		
実績	<p><ワーケーション関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光庁「新たな旅のスタイル促進事業」アドバイザー ・観光庁「ワーケーション推進事業」アドバイザー ・観光庁「企業ニーズに即したワーケーション推進事業」伴走支援者 ・テレワーク・ワーケーション官民推進協議会 運営委員・運営事務局 ・日本ワーケーション協会 公認ワーケーションコンシェルジュ <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀伊半島地域連携 DMO 事務局長 兼 最高マーケティング責任者・財務責任者 ・和歌山県 地域づくりアドバイザー ・和歌山大学/和歌山大学専門職大学院 非常勤講師 兼 教育研究アドバイザー ・大阪観光大学 カリキュラム検討委員 兼 観光学研究所 客員研究員 ほか 	
ワーケーション関連の専門性	<p>■専門性 ※該当箇所に☑をつけてください。</p> <p>☑子育て世代も参加可能な業務型ワーケーション実証事業</p> <p>☑デジタルノマド受入に向けた環境及び体制整備に関わる実証事業</p>	
ワーケーション関連の実績	<p>日本におけるワーケーション発祥の地で聖地の1つである和歌山の公認コーディネーターとして、2018年より200社3000件超のワーケーション企画・運営・手配を実施。また、秋田・岡山をはじめ全国約30自治体のワーケーション地域づくり支援にも従事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光庁「誘客多角化事業：ワーケーションの聖地化」：イベント主催・セミナー講演 ・観光庁「新たな旅のスタイル促進事業」：企画・手配・運営・講師・エビデンス取得 ・総務省「関係人口創出拡大事業 コレクティブ・インパクト・リーダーシップ」：企画・手配・講師 ・総務省/日本テレワーク協会「地域型テレワークトライアル」：現地コンシェルジュ ・林野庁「森林サービス産業：健康経営ワーケーション」：ツアー主催・エビデンス取得 ・和歌山県「わかやま親子ワーケーション」：企画・運営支援 ・和歌山県「ワーケーション・リーダーズ・サミット」：セミナー講演 ・和歌山県「ワーケーション FAM ツアー」：ツアー企画・主催 ・和歌山県「企業向けワーケーション白書」：監修・執筆 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県「ワーケーションコレクティブインパクト 2022」:企画・運営・手配・講師 ・日本経済団体連合会/日本観光振興協会「TRY!ワーケーション」:企画・手配・講演 ・三菱地所「WORK×ation Site 南紀白浜」:現地ワーケーション総合コンシェルジュ ・日本経済新聞「ワーケーション会議 in 和歌山」:セミナー講師 ・日本能率協会マネジメントセンター「ことらぼ」:企画・手配・運営・講師 ほか
<p>申請を検討する 事業者へ</p>	<p><子育て世代も参加可能な業務型ワーケーション></p> <p>2018年に日本初となる親子ワーケーション受入の企画・運営を行って以降、和歌山のワーケーション総合コンシェルジュとして、累計3000件を超える専用プログラム開発・現地旅行手配・受入体制拡充を行ってきました。特に、子育て世代に特化した観光とは異なる「地域まるごと職業体験プログラム」などの地域コンテンツ造成や、リモートワークを行う親子が滞在しやすい「宿泊・交通・飲食・ワークプレイスの一気通貫での受入体制づくり」を得意としています。子育て世代と言っても乳児・幼児・小学生などで受入要件やニーズも異なり、一般のワーケーション受入よりも自立・自走に向けたハードルが高いのが特徴です。和歌山や全国での失敗談も含むリアルな地域での実践経験をもとに、ご縁をいただいた地域の皆さんと一緒に汗をかきながらその地域ならではの固有解を一緒に探していけましたら嬉しいです。</p> <p><デジタルノマド受入に向けた環境及び体制整備></p> <p>2018年より和歌山のワーケーション総合コンシェルジュとして、累計3000件を超える専用プログラム開発・現地旅行手配・受入体制拡充を行ってきました。また、和歌山12市町村が広域で連携する紀伊半島地域連携DMOの事務局長・最高マーケティング責任者として、特に富裕層インバウンドに特化した特別プログラム開発・現地旅行手配・受入体制拡充も行ってきました。デジタルノマドはワーケーション×インバウンドの新しいニーズへの対応が必要で、特に、デジタルノマドに特化した観光とは異なる「地域交流プログラム」などの地域コンテンツ造成や、長期滞在型でリモートワークを行う外国人が滞在しやすい「宿泊・交通・飲食・ワークプレイスの一気通貫での受入体制づくり」が必要となります。デジタルノマドと言っても受入要件やニーズが多様で、一般のワーケーション受入よりも地域への持続的な経済波及効果を得るための仕組み化が難しいのが特徴です。和歌山や全国での失敗談も含む豊富な地域での実践経験をもとに、ご縁をいただいた地域の皆さんと一緒に汗をかきながらその地域ならではの固有解を一緒に探していけましたら嬉しいです。</p> <p><参考記事></p> <p>①記事:ワーケーションは「持続可能なWin-Winの仕組み化」がカギ https://storynews.jp/story/splashtop-shirahama-airport/</p> <p>②動画:和歌山・白浜が「聖地」になった理由を学ぼう https://www.youtube.com/watch?v=2caP54xKWNQ</p>
<p><伴走支援マッチング希望> 企業・地域の応募申請時</p>	
<p>添削可能件数</p>	<p>5件 ※添削可能な件数をご記載ください。</p>